

(控)

25調環環発第2710006号の2

平成26年1月31日

ちょうふ環境市民会議

代表 安部 宝根 様

調布市長 長友 貴樹

里山・国分寺崖線保全と協働に関する要望書について(回答)

日ごろから、調布市の環境行政に多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、平成25年12月27日付文書でいただきました、「里山・国分寺崖線保全と協働に関する要望書」につきまして、下記の通り回答申し上げます。

記

1 要望1「環境基本計画・緑の基本計画について、他の施策との連携」「環境施策の推進において環境保全活動へのヒアリングを行い計画の推進を図ること」について

【回答】

環境基本計画・緑の基本計画においては、その策定段階から環境調整協議会等を設置し、関係各課との調整・連携を行い策定し、進行管理についても関係各課と連携し推進しているところであります。なお、環境保全団体等へのヒアリングによる計画推進については、必要に応じ環境学習事業等におけるアンケートやヒアリング等により要望等を確認をしているところでありますが、今後は、環境保全団体等の意見や要望の確認も積極的に行い、計画の推進を図ってまいります。

また、御指摘の景観計画(案)と緑の基本計画の整合については、緑の基本計画に記載の国分寺崖線保全重点範囲は、調布の森計画として示している範囲であり、景観計画(案)に示されている範囲と整合が図られていると判断しております。

す。今後も他の計画・施策等との整合については、庁内連携を行い、緑の基本計画との整合を図り、緑豊かなまちづくりを実現してまいりますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

2 要望2「子どもたちの環境教育の推進を積極的に図ること」について

【回答】

現在、多摩川自然情報館やこどもエコクラブ事業等を活用し、子供たちへの環境教育を行っているところです。次世代を担う子供たちへの環境教育は、調布市の財産である自然環境を守るためには、重要な事業であることから、今後も関係部門が連携し推進してまいります。

一方、事業の拡大等については、子供たちへの安全対策面における課題等により、規模によっては行政職員だけでの対応が難しいことがあります。このため、樹林地保全活動団体の方々と意見交換等を行い、連携し対応してまいります。

3 要望3「佐須の里山保全について、市民への協力呼びかけと地域住民との協議、部間連携を行い施策の推進を行うこと」について

【回答】

佐須の里山といわれている、神代農場・野草園・カニ山と一体となった周辺田畑を含む深大寺・佐須地域の保全については、市民・農業従事者・地権者・学識経験者・環境団体・東京都・国等の意見・要望を反映し、現在、調布市深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画として、策定を進めているところであります。

本計画では、まずは農業従事者や地権者の要望を優先し、田畑をできる限り残していくための営農支援に関する内容を重点事業としたほか、市民・地域住民に協力していただくため、都市農業への理解促進のための事業、協働による雑木林活動・環境学習の促進事業などを推進していくこととしています。

また、計画の進行管理や推進体制については、既に計画の検討段階で、庁内横断組織である環境調整協議会及びその下部組織である深大寺・佐須地域環境保全等推進部会を設置していますので、これらの活用により部間連携を行い、施策を推進してまいります。

4 要望4「里山・国分寺崖線保全のため環境センターを整備すること」について

【回答】

現在、環境センター的な機能を持つ施設の新たな整備予定はありませんが、類似の施設として、多摩川自然情報館、植物多様性センター、クリーンプラザふじみがありますことから、施設間での連携や活用促進を図ってまいります。また今後も、二枚橋焼却場跡地に建設予定の施設にも環境学習スペース等を検討しているところです。

5 要望5「カニ山キャンプ場の使用について、定期的に利用者等の協議を行うこと」「カニ山キャンプ場のかまど使用についての規定変更」について

【回答】

カニ山の貸し出しは、現在1日1団体とさせていただいております。これは、複数の団体が利用すると団体ごとに年齢構成や参加人数といった利用団体の属性、また利用目的が異なることがあるため、利用団体間でのトラブルを防止するためであります。

かまどにつきましても、8つありますが、1団体の人数や作るものにより使用するかまどの数が異なっていること、また風向き等により使用箇所を変更できるようにするための配慮によるものです。

なお、今後のキャンプ場の貸出し方法につきましては、利用者の意見を伺いながら検討してまいりますので、御理解賜りますようお願い申し上げます。